

除雪機械

日本有数の豪雪地帯で道路を守る 最強除雪機械を一気レビュー!

新潟県内の豪雪地帯を貫く国道17号。この道を雪から守るのが、「日本最強」と称される湯沢維持出張所除雪部隊。そこで今回は、除雪の方法とともに、彼らの頼もしいパートナーである除雪機械を紹介します。

まずは転ばぬ先の杖
路面凍結防止剤をまいて
スリップを防ぐ

●凍結防止剤散布車

路面温度が0度以下に下がり雪や水が凍ってしまつと、ツルツルになった路面で自動車スリップ事故を起こす危険があります。凍結防止剤散布車は、タンクに積載した凍結防止剤を走りながら散布して路面凍結を防ぎます。

押しのけて、ならして、
また押しのける
道路除雪ならおまかせの
定番トリオ

●除雪トラック／除雪グレーダ／
除雪ドーザ

いよいよ雪が積もりだして、路面の積雪が5〜6cm以上になると走行も危険に。ここで登場するのが、定番の除雪車トリオ。

除雪作業は、死角が多い除雪車の操作、さらに降雪による視界不良の中での作業となるため、安全には非常に神経を使います。

除雪トラックは、大型トラックの前面に「スノープラウ」と呼ばれる大きな雪かき用ブレードが取り付けられています。このスノープラウで路面に積もった雪を、道路の端に押しつけていきます。

除雪グレーダは、既に踏み固められ凸



除雪トラック



スノーシェッド内に吹き込んだ大量の雪を処理



除雪グレーダ



ヘアピンカーブ区間も、素早く正確な除雪作業により安全が確保される。

除雪機械

ロータリ除雪車



雪が降りつづく中、ロータリ除雪車で路肩の雪を取り除く。



山間部では、斜面から道路に覆いかぶさる雪が降りやんでも作業は続く。

「オーガ」と呼ばれる鋤(すき)のような刃で積み上がった雪をかき込み、「ブロー」という扇風機のような羽の力で雪をねらった所に吹き飛ばしていきま

次の降雪に備えて、運搬排雪を行う。

大量に積み上がった雪も力自慢の排雪車両なら大丈夫

●ロータリ除雪車／雪底処理車

本格的な降雪シーズンになり、繰り返し除雪が行われると、路肩に大量の雪が積み上げられます。

豪雪地帯では、路肩に積み上げられた雪も交通の妨げになるのが悩みの種。人の力では手におえない大量の雪は、機械の力で効率よく取り除きます。

ロータリ除雪車は、前部に取り付けた「オーガ」と呼ばれる鋤(すき)のような刃で積み上がった雪をかき込み、「ブロー」という扇風機のような羽の力で雪をねらった所に吹き飛ばしていきま

歩道除雪車



歩道除雪車

降雪があると歩道への積雪に加えて、車道除雪による雪も歩道に寄せられ、歩行者の通行が困難になります。そのため、歩道除雪を行って歩行者の安全な通行を確保します。

安全に通勤・通学できるように

ように張り出してきた雪(雪庇)が、路面や通行中の車に落ちてくる危険があります。雪庇処理車は、この張り出しを切り落として通行車両の安全を確保します。

雪庇処理車



冠雪処理



道路標識(写真上)やスノーシェッド入口部(写真下)に積もった雪の人力による処理

雪底処理



トンネル内での人力による「つらら」処理

つらら処理

機械で届かない斜面は人力によって慎重に処理を行う。



法面点検車(雪崩パトロール)



雪崩パトロールでは法面点検車を使って雪崩の危険箇所にも異常がないか点検する。

通勤・通学に間に合うように、早朝からの歩道除雪を行っている。除雪された歩道を通学する小学生(写真上)

除雪は路面だけではなくトンネルや道路標識の対策や雪崩パトロールも重要作業

●つらら処理／冠雪・雪庇処理／法面点検車(雪崩パトロール)

路面除雪の他にも、トンネル内にてきたつららを取り除く作業があります。走行中の車に落ちたら一大事。また、道路情報板や道路標識、斜面に積もった雪の処理も大切な作業。これらは機械の力も借りますが、実際の作業は人手で行う部分も多く、大変な作業です。